

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	無電柱化推進事業		路河川名等	(国)148号					
事業毎の通番	1	市町村名	白馬村	箇所名(ふりがな)	白馬駅前(はくばえきまえ)				
事業概要	事業目的	当該箇所はJR大系線白馬駅に位置しており、スノーリゾート等の観光地として注目を集めており、多くの観光客が訪れる玄関口となっている。 また当路線は緊急輸送道路に指定されており、災害時には重要な幹線道路としての機能を果たす必要がある。 現在歩道区間には電柱・電線が乱立しているが、電線共同溝を整備することで、安全で快適な通行空間の確保、景観及び防災面の向上を図る。							
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	第4編3-8 生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法 電線共同溝の整備等に関する特別措置法					
	関連する事業、計画等	第7期無電柱化推進計画							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	歩行者、災害時の通行車両他							
	着手年度	平成30年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成35年度	費用対効果	—	国庫	451,000	その他	369,000	
	全体事業内容(主な工種)	電線共同溝工 L=480.0m			820,000	451,000		369,000	
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道空間を占有している電柱の地中化により、快適・安全な歩行空間が得られる。 無電柱化により、災害時等の電柱転倒、電線垂れ下がりによる交通障害の発生がなくなる。						
		間接的効果(定量的・定性的)	道路空間の圧迫感解消により、沿道の良好な景観が得られる。 良好な景観、快適な歩行空間の形成により、市街地の活性化が見込める。						
	評価の視点	必要性	一日当りの交通量は、車両13,027台、歩行者13人であるが、年間10万人以上の利用客が訪れる箇所である。 円滑な通行、安全な歩行空間の確保のため、無電柱化が必要である。					評価	B
重要性		当該箇所は緊急輸送路であり、神城断層地震等の大規模災害に備え、防災の観点からも無電柱化を行う。 また、総合5ヶ年計画の整備主要箇所として位置づけられていることから、着実に事業を進める。					評価	A	
効率性		低コスト手法等を検討し、事業費を抑制するとともに事業の進捗を早め、効率的に事業を進める。					評価	C	
緊急性		当該地は観光地への玄関口としての観光道路といった性質もあるため、早期の事業着手が望まれる。					評価	C	
計画熟度		県、村、地元区、地元企業により「白馬駅周辺整備検討会」を設置し、連携をしながら検討を進めている。					評価	B	
所管課意見		当路線は一次緊急輸送路であるとともに、多くの駅前の利用者があることから、電線共同溝を整備することで、安全で快適な通行空間の確保、景観及び防災面の向上を図る。					採択状況	○	総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。								

事業概要説明図表	【平面図】		
	【整備の必要性が分かる状況写真】	<p>電柱・電線が乱立しており、駅からのアルプスの眺望を阻害している。災害時には、電柱転倒による交通マヒ、住民活動に支障が生じる。</p>	<p>良好な景観、快適な歩行空間の形成により、市街地の活性化が見込める。</p>
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)148号は大町市と新潟糸魚川市を結ぶ広域幹線道路であり、震災対策緊急輸送路線(第1次)として指定され、災害時には重要な幹線道路としての機能を果たす必要がある。また、白馬村は世界的な観光リゾート地である。毎年多くの外国人観光客が訪れており、当該箇所はJR大系線白馬駅前に位置しており、その玄関口となっている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成24年度に「白馬駅前を無電柱化したい考える会」より白馬村長に白馬駅前を無電柱化しよう提言があった。それを受け、平成24年度に白馬村長が阿部知事に無電柱化を要望している。県、村、地元区、地元企業により「白馬駅周辺整備検討会」を設置し、連携をしながら検討を進めている。	
	③事業説明等の経緯	平成28年に予備設計を行い、「白馬駅周辺整備検討会」にて技術的に電線地中化は可能である旨を説明したところ、白馬駅周辺の発展のために早期事業化について強い要望を受けた。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	地域戦略型公共事業として白馬駅周辺を通年型、広域型及び長期滞在型観光の拠点として整備するよう「白馬駅周辺整備検討会」を設置し検討を進めている。	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	白馬駅前周辺を一体的に整備できるよう、「白馬駅周辺整備検討会」を設置し関係機関と連携をしている。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により駅前の景観が改善され、観光地としてのイメージアップが期待される。	
	⑦その他	実施設計を行うにあたり、浅埋工法等のコスト縮減について検討を行う。	事業代表地点の緯度経度